本資料は、香港学術及職業資歴評審局（HKCAAVQ）の協力・助言を得つつ、最近のデータや動向を踏まえ、機構の評価事業部国際課が作成したものです

Ⅰ．高等教育制度の概観

（1）学校教育制度と高等教育課程の種類

香港の教育（高等教育含む）は、香港特別行政区政府教育局が所管している。

なお、香港の学制は、下表１のとおり、初等教育６年、前期中等教育３年、後期中等教育３年、学士課程４年の6-3-3-4制である。義務教育は、初等[1]・中等教育（小学校・中学校相当・高校相当）の計12年間[2]であり、公立学校（香港政府立、100%政府の補助金で運営する民間学校）の場合、無償で教育を受けることができる。義務教育修了後の進路には、職業教育機関や大学等がある。

香港の旧学制は、英国をモデルとした学制（6-5-2-3 制[3]）であったが、2009 年の学制改革により、同年に後期中等教育課程（高校相当）に進学する学年より、新しい学制（6-3-3-4 制）が適用されることになった（表２参照）。また、学士課程については、2009 年に後期中等教育課程に進学する学年が、大学に入学した 2012 年度から４年制が適用された。

香港の高等教育における学年歴は、一般的に９月頃から始まるが、大学や学部によって異なる。

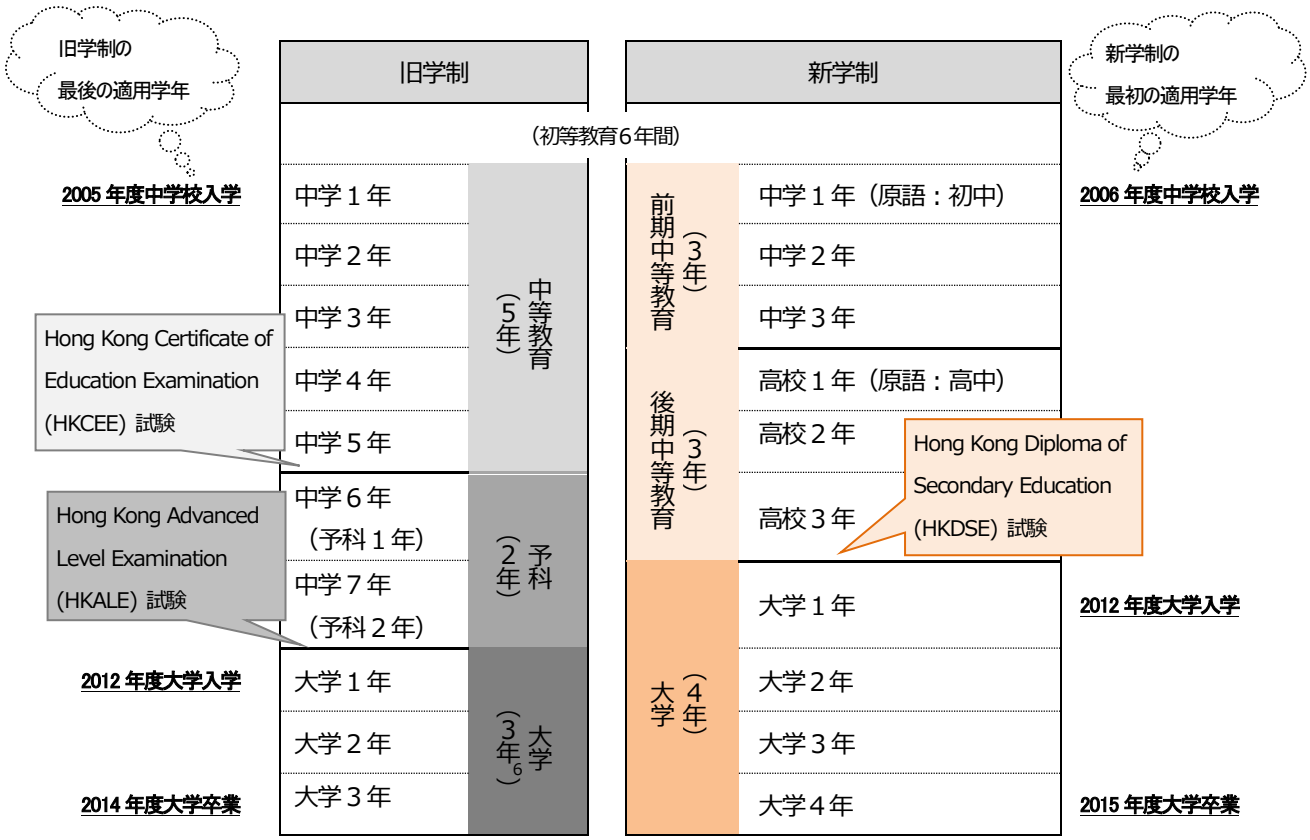
表１：教育課程の種類・標準修業年限（新学制）

教育課程	標準修業年限	代表的な教育提供機関
就学前教育	1～3 年	幼稚園
初等教育　［義務教育］	6 年	小学校
前期中等教育　［義務教育］	3 年	中学校相当機関
後期中等教育　［義務教育］	3 年	高校相当機関
中等後教育		
サーティフィケート	レベル[4]による	左記の課程によるが、大学や学院のほか職業系教育機関が提供
ディプロマ	レベルによる	
副学士課程	3 年	
学士課程	4 年[5]	
修士課程	1～2 年	
博士課程	3 年	

（UK NARIC (2015) & Education Bureau (2014)＆Information Services Department (2015)により作成）

[1] 当該年の 12 月 31 日までに満６歳になる者が、同年９月に就学（小学校に入学）。
[2] 義務教育には例外もあり、子が特定職の実習生（apprentice）である場合等は免除される。
[3] 旧学制では、初等教育６年、中等教育５年、予科教育（大学等への予備課程教育）２年、高等教育（大学）３年。
[4] レベルについては、表５を参照。
[5] 2009 年の学制改革により、学士課程は、2012 年より修業年限が４年になった。

表２：旧学制と新学制の比較



（Education and Manpower Bureau (2005)＆Hong Kong Examinations and Assessment Authority (2015a, b, c)により作成）

（２）中等後教育（post-secondary）機関の規模･種類

義務教育修了後の中等後教育[7]には、学術中心の大学等機関と、職業系教育を提供する機関がある。このうち学位授与を行う機関は 20 機関であり[8]、そのうち 8 機関が香港政府大学教育賛助委員会（UGC: The University Grants Committee）から配分される公的資金により運営され、11 機関が自己資金で運営される私立機関（self-financing institutions）、残りの１機関が香港政府から直接公的資金の配分を受けて運営されている。（表３参照）

[6] 旧学制が適用されていた時でも、修業年限が４年の大学もあった（例：香港中文大学）。
[7] 中等後教育のうち、学位授与を行う教育について高等教育と呼ぶ場合もあり、文脈により用語･定義が異なる場合がある。
[8] 香港では、法令に基づき、許可なく'University'、「大學（大学）」、「學院（学院）」を使用することは認められていない。

表３：香港の学位授与機関一覧　（2015 年９月現在）

公的助成を受ける学位授与機関

［UGC を通じて公的資金を配分される高等教育機関：8 機関］

・香港城市大学（City University of Hong Kong：CityU）
・香港浸会大学（Hong Kong Baptist University：HKBU）
・嶺南大学（Lingnan University：LU）
・香港中文大学（The Chinese University of Hong Kong：CUHK）
・香港教育学院（The Hong Kong Institute of Education：HKIEd）
・香港理工大学（The Hong Kong Polytechnic University：PolyU）
・香港科技大学（The Hong Kong University of Science and Technology：HKUST）
・香港大学（The University of Hong Kong：HKU）

［香港政府から直接公的資金を配分される（publicly-funded）機関：1 機関］

・香港演芸学院（Hong Kong Academy for Performing Arts）

私立学位授与機関

［自己資金で運営する（self-financing）高等教育機関：11 機関］

・明愛専上学院（Caritas Institute of Higher Education）
・明徳学院（Centennial College）
・珠海学院（Chu Hai College of Higher Education）
・宏恩基督教学院（Gratia Christian College）
・恒生管理学院（Hang Seng Management College）
・香港専業進修学校（HKCT Institute of Higher Education）
・香港能仁専上学院（Hong Kong Nang Yan College of Higher Education）
・香港樹仁大学（Hong Kong Shue Yan University）
・東華学院（Tung Wah College）
・香港高等科技教育学院（Technological and Higher Education Institute of Hong Kong）
・香港公開大学（The Open University of Hong Kong）

（Education Bureau, Institutions により作成）

表４：香港の中等後教育における学生数　（2013/2014 年度）［単位：人］

	公立	私立	合計
副学士課程以下	26,700 （24,700） （2,000）	59,400 （52,000） （7,400）	86,100 （76,700） （9,400）
学士課程	78,900 （77,400） （1,500）	39,100 （30,500） （8,600）	118,000 （107,900） （10,100）
大学院課程（課程学位） (Taught Postgraduate)	3,400	38,700	42,100
大学院課程（研究学位） (Research Postgraduate)	7,000	500	7,500

※表中（ ）内は内数で、上段がフルタイム学生数、下段がパートタイム学生数。

※Key Statistics on Post-secondary Education のデータから、フルタイム学生数およびパートタイム学生数を合算。

（The Government of the Hong Kong Special Administrative Region (2014)により作成）

Ⅱ．香港の質保証制度の概要

（1）高等教育の発展

香港は 1997 年の中国返還前まで、英国領として植民地政府による統治を受けていた。中国返還後も、香港特別行政区基本法により、少なくとも返還後 50 年間はこれまでの資本主義体制や生活を保証する一国二制度がとられており、教育についても香港独自の体制や政策が適用されている。香港における大学は、英国植民地政府統治下の 1911 年に香港大学、1963 年に香港中文大学が設立されたが、当時は大学が 2 機関のみであったこともあり、1980 年代初めまで香港内での大学進学者は 2%程度にとどまっており、経済的に余裕がある者は海外に留学していた。しかしながら、1997 年に迫った香港の中国返還を前に、外国への移住者が増加したことや、政治上の変革があったこともあり、香港政府は 1988 年以降に大学数を増加させた。2015 年９月末時点では大学・学院が 20 機関設置されている（表３参照）。

（2）政府への登録制度

香港の教育機関は、法令に基づく登録制度（Registration；香港政府が管理）により管理されている。中等教育後の教育機関の場合は、法令で求められているデータ（管理運営体制・教職員数・施設や設備・財務等）を記載した機関登録申請を提出し、教育の体制が適切かどうかなどについて審査され、香港特別行政区政府教育局の承認を受けて登録が認められる。なお、学士以上の教育プログラムを有する機関が登録申請をする場合、香港学術及職業資歴評審局（HKCAAVQ）による機関レビュー（後述表６参照）を受け、その結果をもって政府が登録にかかる審査を行う[9]。また、学士以上の学位を授与するためには、香港特別行政区行政長官による承認が必要であるが、この手続きにおいても HKCAAVQ の機関レビューを受ける必要がある。

しかしながら、公的助成を受ける教育機関など[10]は、この登録制度の対象外である。一方、外国大学の香港キャンパスなど、香港で教育を提供する Non-local[11] 教育課程については、一部の例外を除き、登録制度の対象である。

（3）資格枠組み

香港における高等教育の重要な制度基盤として段階的に整備された「香港資格枠組み（HK Qualifications Framework：HKQF）（2008 年導入）がある。これは、学習経験や労働経験等から習得・経験した知識や技能について、学位・資格レベルごとに統一的に示す仕組みである。各レベルには、求められる知識や技能、単位数等が定められており、香港における学術中心の教育や職業教育、継続教育で得られる学位・資格が 7 つのレベルに区分されている。（表５参照）。原則、HKQF で定められた学位・資格名称しか使用できないことになっており、別の名称を使用する場合は申請が必要である。なお、HKQF の管理は香港特別行政区政府教育局が行っている。

HKQF は、生涯教育の推進目的から、中等教育後における、学術教育・職業教育・継続教育で授与される学位・資格の透明性を示すとともに、学習成果のレベルを確認するうえで、高等教育の質保証プロセスの中でも活用されている。策定の背景としては、香港における急速な技術発展やグローバル化によって、知識基盤経済への転換に迫られたことが大きな理由とされている。実際には、学術教育・職業教育・継続教育間の接続（進学）を容易にすることや、生涯学習の促進、学習者の様々な進路設計を補助することを意図して導入されている。また、HKQF は他国・地域の学位・資格の仕組みと比較できるよう制度設計されている。

---

[9] HKCAAVQ の機関レビューの結果は、香港政府による審査における検討材料となる。ただし、登録の可否を判断するのは政府であり、HKCAAVQ の機関レビューは政府からの承認（登録）を保証するものではない。

[10] UGC から資金配分されている８機関、香港公開大学、香港演芸学院、香港高等科技教育学院（2015 年７月時点）

[11] 香港で教育を提供する、香港以外の国・地域の教育機関、教育課程、教育プログラムを指す。香港で提供される、中国本土の教育プログラムも含まれる。

教育プログラムの透明性を図る上で HKQF を活用するかどうかは、大学等機関に任されているものの、第三者評価（後述Ⅱ（４）を参照）を行う際には、評価を行う質保証機関が本仕組みを積極的に活用している。質保証機関は、教育プログラムの修了時に授与される学位・資格が、HKQF レベルにおいて求められる知識・技能等を維持できるプログラムとなっているかを確認している。

香港の資格枠組みで認められた学位・資格を参照できるデータベースとして、「資格登録簿（Qualifications Register: QR）」[12]が開設されており、学習者等は本登録簿を参照することで、香港資格枠組みで認められた教育プログラムであるかどうかを確認することができる。QR は「香港学術及職業資歴評審局（HKCAAVQ）」が管理している。

2015 年 7 月現在、QR には 239 機関が授与する 8,055 の学位・資格（プログラム）が登録されている。このうち、香港資格枠組み（HKQF）（後述Ⅱ(3)を参照）のレベル 5～7（学士以上）の学位・資格は、2,331 あり、全体の 30%弱を占めている。

表５：香港資格枠組みの概要　※学位・資格の名称は、上段が和訳、中段が英語（原語）、下段が繁体字（原語）

<table>
<tr><th>レベル</th><th colspan="6">レベルごとの学位・資格の種類</th></tr>
<tr><td>7</td><td colspan="6">博士
Doctor
博士</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td rowspan="2">修士
Master
碩士</td><td>大学院ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ
Postgraduate Diploma
深造文憑</td><td rowspan="4">専門職ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ
Professional Diploma
專業文憑</td><td rowspan="4">上級ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ
Advanced Diploma
高等文憑</td><td rowspan="4">ディプロマ
Diploma
文憑</td><td rowspan="4">サーティフィケート
Certificate
證書</td></tr>
<tr><td>大学院ｻｰﾃｨﾌｨｹｰﾄ
Postgraduate Certificate
深造證書</td></tr>
<tr><td>5</td><td colspan="2">学士
Bachelor
學士</td></tr>
<tr><td>4</td><td>副学士
Associate
副學士</td><td>高等ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ
Higher Diploma
高級文憑

高等ｻｰﾃｨﾌｨｹｰﾄ
Higher Certificate
高級證書</td></tr>
<tr><td>3</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>2</td><td colspan="4"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">基礎
サーティフィケート
Foundation Certificate
基礎證書</td></tr>
<tr><td>1</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

（出典： Education Bureau（2012b））

[12] 資格登録簿（Qualifications Register: QR）　<http://www.hkqr.gov.hk/HKQR/welcome.do>

（4）第三者評価の種類

高等教育の第三者評価を行う機関は、以下の３機関がある。

①質素保証局（QAC: Quality Assurance Council）

②連校素質検討委員会（JQRC: Joint Quality Review Committee）

③香港学術及職業資歴評審局（HKCAAVQ）

それぞれ、評価の対象となる教育機関や教育プログラムが異なる（表６参照）。

表６：第三者評価機関における評価の特徴

質素保証局（QAC: Quality Assurance Council）	
UGC の管轄下で、UGC による公的資金を受ける機関の質保証を所掌する機関として、2007 年に設立	
対象	UGC による公的資金を受ける８機関
評価（オーディット）	質の向上を目的とした、グローバルな視点での定期的な評価。学習経験や学習による達成度、学習成果に着眼点を置く。
連校素質検討委員会（JQRC: Joint Quality Review Committee）	
2005 年に大学長委員会（UGC から助成を受ける８大学長で構成）によって設立	
対象	UGC による公的資金を受ける８機関が、自己資金により提供する副学士以下の教育
評価（レビュー）	２段階によるレビュー（プレビューと機関別レビュー）
香港学術及職業資歴評審局（HKCAAVQ）	
対象	UGC による公的資金を受ける８機関以外の教育プログラム
評価の種類と対象	(a) プログラム・アクレディテーション（適格認定） (b) Non-local プログラム・アクレディテーション（適格認定） (c) 学士プログラムを有する場合の機関レビュー：学士以上のプログラムを提供する中等後教育機関が受ける評価で、当該教育機関が学士レベルの教育を提供するにふさわしいかどうかを審査する。目的としては、政府の登録制度（Ⅱ（２）を参照）の審査で活用される[9]ほか、教育機関が大学に昇格する際の必須評価でもある。

（作成：大学評価・学位授与機構）

UGCから助成を受ける機関と香港公開大学については、すべて自己適格認定機関[13]である。このうちUGC関係機関については、「質素保証局（QAC: Quality Assurance Council）」や、「連校素質検討委員会（JQRC: Joint Quality Review Committee）」が、質の向上等を目的とした評価（オーディットやレビュー）を行っている。

評価機関３機関のうち、1990 年から法令に基づいて、学術資格に対するアクレディテーションの業務を担ってきたのが「香港学術資歴評審局（HKCAA）」である。HKCAAは2007年に、「香港学術及職業資歴評審局（HKCAAVQ）」に改組され、職業資格に対するアクレディテーションも実施することになった。HKCAAVQ は、中等後教育機関が提供する教育プログラムについて、HKQF に即した学位・資格が適切に授与されているかを審査する第三者評価（HKCAAVQ によるアクレディテーション）を行っている。

香港における第三者評価は、主に次の３種類に分類される。

a. HKCAAVQ 以外の評価（オーディット・レビュー）

QAC や JQRC が、UGC から公的資金を受ける機関に対して、質の向上を目的とした評価を実施する評価。

[13] HKCAAVQ による定期的な適格認定（アクレディテーション）を受ける義務がなく、自身の組織で内部質保証の取組みを行うことが認められている機関を指す。

b. HKCAAVQ によるアクレディテーション（適格認定）

高等教育（学術・職業教育）のプログラムアクレディテーションを行う機関は、HKCAAVQ のみである。自己適格認定機関と Non-local 教育機関以外のプログラムが、定期的に受ける義務のある第三者評価（アクレディテ―ション）である。

c. Non-local プログラムのアクレディテーション（適格認定）

法令上、Non-local 教育プログラムについては、アクレディテーションの受審は義務ではない。HKCAAVQ のアクレディテーションを受け、適格認定された Non-local プログラムは、香港資格枠組みにおける学位・資格レベルが認定され、QR にも登録できる。

香港資格枠組みのレベル 5～7（学士以上）の約 2,300 の学位・資格（プログラム）のうち、10%が HKCAAVQ によるアクレディテーションを受け、90%が自己適格認定機関で授与される学位・資格である。一方、資格枠組みレベル 1～4（副学士以下）については、79%が HKCAAVQ によるアクレディテーション、17%が JQRC による評価（レビュー）を受けており、残りの 4%が自己適格認定機関で授与される学位・資格である（2014 年 9 月時点）。

Ⅲ．香港の第三者評価の仕組み

香港資格枠組みにおける学士以上のプログラムに対する第三者評価にかかる手法は、以下のとおりである。

A）QAC の評価（オーディット）

※本稿においては第 2 サイクルのオーディット（2012～2016 年）について述べる。

◇**概要**：

QAC は、UGC による公的資金を受ける機関に対して、質の向上などを目的とした第三者評価を実施している。

◇**対象**：UGC から公的資金の配分を受ける 8 機関[14]（機関別の評価）

◇**オーディットの実施方法**：主に書面調査と訪問調査（標準では 3 日間、最大 12 回の面談）により審査

◇**特徴**：教育機関は、定期的な自己評価（外部有識者による外部評価等も含む）を実施することが求められており、その結果に基づいてオーディットの自己評価書を作成し、QAC の評価者による訪問調査が行われる。

◇**評価の周期**：５年以内

◇**評価者**：4 名（香港の高等教育有識者が 2 名、国際的な評価者が 2 名）

◇**評価の観点**：以下の観点を中心に、内部質保証の手順や、香港の QF レベルで求められる学習成果等が十分かといった視点で審査が行われる。

1．学習成果の発展と活用（Development and implementation of learning outcomes）
2．学生の到達度評価（Assessment of Students）
3．学内外における学習環境の管理運営（Managing placement learning and off-campus learning）
4．成績評価等についての異議申立て（Academic appeals and student complaints）
5．質の向上（Quality enhancement）
6．大学院における研究プログラム（Postgraduate research programmes）
7．ベンチマーク（Benchmarking）

[14] 香港教育学院については、自己適格認定機関として認められている学士以上の教員養成課程のみが対象。その他の教育プログラムについては HKCAAVQ の評価を受ける。

◇**評価結果・フォローアップ**：

- オーディット報告書には、指摘事項（recommendation）や確認事項（affirmation）が付される。また報告書は、QAC ウェブサイトで公表されるとともに、QAC を通じて UGC と共有される。
- オーディットのフォローアップとして、教育機関は、オーディット報告書で示された指摘事項に対応すべく行動計画を策定し、UGC に提出。
- 訪問調査の 1 年半後に、教育機関は行動計画に基づいた進捗報告書を作成し、QAC がその審査を行う。進捗報告書についても、QAC ウェブサイトで公表される。

B）JQRC の評価（レビュー）

◇**概要**：

UGC から公的資金の配分を受ける機関が、自己資金により提供する副学士以下の教育について、評価（レビュー）を行う。

- 第 1 段階（プレビュー；Preview）：
  自己資金で副学士プログラムを運営する組織の、内部質保証プロセスや仕組みを中心に審査。
- 第 2 段階（機関レビュー；Institutional Review）：
  教育機関による自己評価や評価者による訪問調査等により、組織としての取組をさらに深く調査。機関レビューの審査により承認されたプログラムは、QR に掲載することができる。

C）HKCAAVQ の評価（アクレディテーション）

◇**概要**：

HKCAAVQ は、香港の高等教育機関とその教育プログラムに対するアクレディテーションを行う。教育機関の管理運営体制、学術（教育研究）の基準や質、教員の質、質保証の仕組みや体制、財政状況について、基準に沿っているかを審査し、適格認定を付与できるか判断する。以下は、学士課程以上の学位プログラムにかかる手順である。

◇**対象**： 香港の高等教育機関のうち、自己適格認定機関以外に対して質保証を行う。

◇**評価の実施原則**： 最低基準（threshold standards）、ピア・レビュー、目的への適合性、根拠・証拠に基づいた評価

◇**評価チーム**： 当該学問分野の専門家、民間人、質保証の専門家、HKCAAVQ 職員で構成される。
評価チームの人数や構成は、評価を受けるプログラムの QF レベルなどによって異なる。

◇**4 段階の評価**：

HKCAAVQ によるアクレディテーションは、次の 4 段階の評価で構成されている。

① 初期評価（Initial Evaluation: IE）
② 学習プログラムアクレディテーション（Learning Programme Accreditation: LPA）[15]
②′ 学習プログラム再アクレディテーション（Learning Programme Re-accreditation：re-LPA）
③ プログラム分野別アクレディテーション（Programme Area Accreditation: PAA）
④ 定期レビュー（Periodic Review: PR）

4 段階の評価のうち、①初期評価（IE）と②学習プログラムアクレディテーション（LPA）は、すべての教育組織あるいは教育プログラムが受けるものである。上述①および②を受けた後も、有効期限を迎える前に、②′ 学習プログラム再アクレディテーション（re-LPA）を受ける必要がある。他方、③プログラム分野別アクレディテーション（PAA）と④定期レビュー（PR）は、教育組織が自律した内部質保証を行えることを前提とした評価である。②あるいは②′で適格性が認められた教育プログラムのうち、内部質保証（自己評価や組織が自ら行う外部評価等）が優れている場合は、プログラム単位での評価ではなく、分野（同じ学問・職能分野の教育プログラムを複数有する組織）単位の評価を受けることになる（上述③）。その後、③により適格認定を付与された当該組織は、自身による質保証（自己評価や外部評価）を定

[15] 以前は、プログラム検証（Programme Validation）と呼ばれていた。

期的に実施し、その結果に基づいて HKCAAVQ が評価を行うという仕組みが、定期レビューである（上述④）。

表７：HKCAAVQ の４段階の評価

	初期評価（IE）	学習プログラム（再）アクレディテーション（LPA/re-LPA）[16]	プログラム分野別アクレディテーション（PAA）	定期レビュー（PR）
目的	教育提供組織の管理運営体制等について、教育目的や QF レベルに見合った教育を提供できるかを確認する。	初期評価を受けた教育組織が提供するプログラムについて、学習成果等から判断し、教育目的や QF レベルを満たしているかを審査する。	プログラムよりも広範な学問・職能分野の内部質保証の体制（ガバナンス等）について強固であるかを確認し、プログラム単位での評価を免除してよいか審査する。	教育機関自身の内部質保証が機能しているかどうかを確認する。
受審単位	教育提供組織	プログラム	プログラム分野	プログラム分野
評価の受審時期		初期評価によって適格認定された後、2 年以内。もしくは、初期評価と同時受審。適格認定後は、有効期間ごと。		プログラム分野別アクレディテーションの有効期間内。その後は５年毎。
評価の受審周期	原則、一度のみ[17]	有効期間ごと	定期レビューへの移行前に一度のみ	５年毎

（作成：大学評価・学位授与機構）

①初期評価（Initial Evaluation: IE）　※LPA との同時受審が推奨されている。

- **対象**：自己適格認定機関を除く、教育提供組織
- **評価の構成**：書面調査、訪問調査、もしくは面談により審査
- **所要目安**：評価書類受領から評価報告書の通知まで、LPA と合わせて 20 週
- **特徴**：教育提供組織の管理運営体制等について、教育目的や QF レベルに見合った教育を提供できるかを確認する。
- **評価の周期**：
  - -原則、一度のみ[17]。
  - -IE を受けたのちは、原則として 2 年以内 LPA を受け、それ以降も LPA（re-LPA）を受け続ける（LPA で適格性が認められれば IE の適格性も保持されている、と見なされる）。
- **評価結果の判定**（3 段階）：
  - -適格認定（approval）
  - -仮認定 ※改善事項が付されることもある（approval with conditions; pre-conditions and/or requirements ）
  - -不適格（non-approval）
  - ※仮認定の場合は、改善事項等を改めない限り、適格認定は与えられない
- **異議申し立て**：可能
- **評価結果の公表**：
  - -2013 年３月以降に評価契約[18]を締結したプログラムより、初期評価と学習プログラムアクレディテーション（以前はプログラム検証）について、評価結果報告書の概要が HKCAAVQ ウェブサイトで公表される。

[16] 2014 年８月 14 日以前は、これまでプログラム検証（Programme Validation）として実施されていた。現在は、通常、初期評価と同時に受審するようになっており、負担軽減が図られている。

[17] ただし、IE ののちに受ける LPA（re-LPA）において、教育実施体制等が当該プログラムの QF レベルに見合わないと判断されれば、IE を再度受ける必要がある。

[18] 評価の実施にあたり、契約を交わす（受審機関が Statement of Intent を提出する）。

- **評価基準**（4 領域）：
  1. 教育プログラムの管理運営（Organisational Management）
  2. 財務・施設（Financial and Physical Resources）
  3. スタッフの配置と人材育成（Staffing and Staff Development）
  4. 教育プログラムの開発・管理運営を含めた質保証
     (Quality Assurance including Programme Development and Management)

②学習プログラム（再）アクレディテーション（Learning Programme (Re) Accreditation: LPA/re-LPA）

※IE との同時受審が推奨されている。

※学習プログラム再アクレディテーションは、学習プログラムアクレディテーションと同様に実施される。

- **対象**：自己適格認定機関を除く、教育機関のプログラム
- **評価の構成**：書面調査に加え、訪問調査もしくは面談により審査
- **所要目安**：評価書類受領から評価報告書の通知まで、IE と合わせて 20 週
- **特徴**：
  -IE を受けた教育組織が提供するプログラムについて、学習成果等から判断して、教育目的や QF レベルを満たしているかを審査する。
  -re-LPA では、LPA において認められた適格性が維持できているかについて審査が行われる。
- **評価の周期**：
  -有効期間（通常、当該プログラムの学習期間＋１年[19]）内に１回。
  -IE を受けたのちは、原則として 2 年以内 LPA を受ける。
  -LPA を受けたのちも、LPA（re-LPA）を受け続ける。
- **評価結果の判定**（3 段階）：
  -適格認定（approval）
  -仮認定 ※改善事項が付されることもある（approval with conditions; pre-conditions and/or requirements ）
  -不適格（non-approval）
  ※指摘事項（recommendation）が付されることもある。
- **異議申し立て**：可能
- **評価結果の公表**：
  -2013 年 3 月以降に評価契約を締結したプログラムより、初期評価と学習プログラムアクレディテーション（以前はプログラム検証）について、評価結果報告書の概要が HKCAAVQ ウェブサイトで公表される。
- **評価基準**（10 領域）：
  1. 教育プログラムの目的・学習成果（Programme Objectives and Learning Outcomes）
  2. 教育プログラムの内容と構成（Programme Content and Structure）
  3. 入学要件と学生の選抜（Admission Requirements and Student/Learner Selection）
  4. 教育（教授法・学習）（Teaching and Learning）
  5. 学生の成績評価（Student Assessment）
  6. 教育プログラムに従事するスタッフの配置と人材育成
     (Staffing and Staff Development for Learning Programmes)

[19] 4 年間の学士課程プログラムであれば、通常は 5 年間が有効期間となる。

7. 教育プログラムにかかる財務基盤および施設・設備
(Financial and Physical Resources for Learning Programmes)
8. 教育プログラムの開発・管理運営を含めた質保証
(Quality Assurance including Programme Development and Management)
9. 就職支援と学生支援サービス (Workplace Attachment and Student/Learner Support Services)
10. 学生に関する情報の管理 (Student Records and Information Management)

③プログラム分野別アクレディテーション（Programme Area Accreditation: PAA）

- **対象**：LPA によって適格認定を付与され、7 年間が経過した場合。あるいは、5 年間経過し、一定条件を満たす場合
- **評価の構成**：書面調査や訪問調査により審査
- **所要目安**：評価書類受領から評価報告書の通知まで、20～24 週
- **メリット**：
  -PAA の適格認定を有する組織は、当該学問・職能分野の範囲内で、新たなプログラムを自由に設置でき、当該プログラムは LPA を受審しなくとも QR に登録できる。
  -プログラム単位の質保証は組織自身によって可能となり（内部質保証）、HKCAAVQ による評価（LPA）を受ける必要がない。ただし、HKCAAVQ による審査（定期レビュー）が実施される。
- **特徴**：
  -継続的な内部質保証体制や、組織のガバナンス、教育プログラムの管理運営について、評価（レビュー）。向上体制が強固な組織（同じ学問・職能分野の教育プログラムを複数有する組織単位[20]）に適格認定が与えられる。
  -機関レビュー(Institutional Review)と分野レビュー(Discipline (or Programme Area) Review)の 2 種類の評価で構成。それぞれ異なる評価チームが評価を実施。
  -PAA による適格認定を付与された機関は、HKCAAVQ のウェブサイトで公表される[21]。
- **評価の周期**：通常 2～5 年[22]
- **評価結果の判定**（3 段階）：
  -適格認定（approval)
  -仮認定 ※改善事項が付されることもある (approval with conditions; pre-conditions and/or requirements)
  -不適格（non-approval)
  ※仮認定の場合は、改善事項等を改めない限り、適格認定は与えられない。
  ※PAA において適格認定されない場合は、プログラム単位で LPA（re-LPA）を受け続けることになる。
- **異議申し立て**：可能
- **評価基準**：

＜機関レビュー(Institutional Review)の評価基準：７領域＞
1．カバナンスと組織体制（Governance and Institutional Structure)

[20] 2008 年以来、21 の学問・職能分野が決められていたが、2015 年 10 月に見直しが行われ、14 分野に変更された。（QR においても学位・資格が 14 の学問・職能分野に分類・登録される）。例えば、「ジャーナリズム」と「マス・コミュニケーション」は、「マスメディア、コミュニケーション、ジャーナリズム、広報(Mass Media and Communications, Journalism and Public Relations)」という同一学問・職能分野に属している。なお、「マスメディア、コミュニケーション、ジャーナリズム、広報」という分野には、例えば、映画、テレビ、放送、スピーチ・コミュニケーション、ジャーナリズム、マス・コミュニケーション、広報、企業広報などのプログラムが同じ分野として分類される。

[21] HKCAAVQ "List of Operators awarded with PAA Status"を参照。

[22] 当該プログラム分野の学習期間＋1 年。

2．組織全体の管理運営（Overall Institutional Management）
3．教育の向上計画（Academic Development Plan）
4．財務（Financial Viability and System）
5．プログラムの設置、モニタリングやレビューを含む内部質保証
（Quality Assurance including Programme Approval, Monitoring and Review）
6．スタッフ配置方針（Staffing Policies）
7．教育資源・学生支援（Resources and Support Services）

＜分野レビュー(Discipline Review)の評価基準：９領域＞

1．学問・職能分野における管理運営（Discipline-level Management）
2．戦略的計画（Strategic Plan）
3．プログラムの開発・運営管理（Programme Development and Management）
4．入学・進級・成績評価（Admission, Progression and Assessment）
5．教育方針（Teaching and Learning Policies）
6．プログラム分野（Scope of Programme Area）
7．QF レベルの正当性（Justification of QF Level）
8．学問・職能分野におけるスタッフの配置と人材育成（Discipline-level Staffing and Staff Development）
9．学問・職能分野における教育資源・学生支援（Discipline-level Resources and Support Services）

④定期レビュー（Periodic Review: PR）

- **対象**：PAA による適格認定を有する組織
- **評価の構成**：書面調査や訪問調査により審査
- **所要目安**：評価書類受領から評価報告書の通知まで、24 週
- **特徴**：PAA による適格認定を有する組織が、自らモニタリングや外部レビューといった質保証（内部質保証）を定期的に行い、その結果に基づいて HKCAAVQ が PAA の適格性が維持できているかを審査する。
- **評価の周期**：５年毎
- **評価結果の判定**（3 段階）：
  -適格認定（approval）
  -仮認定 ※改善事項が付されることもある（approval with conditions; pre-conditions and/or requirements ）
  -不適格（non-approval）
  ※仮認定の場合は、改善事項等を改めない限り、適格認定は与えられない。
  ※PAA において適格認定されない場合は、プログラム単位で LPA（re-LPA）を受け続けることになる。
- **異議申し立て**：可能
- **評価基準**（5 領域）：
  1．組織の管理運営・戦略的計画（Institutional management and Strategic Planning）
  2．教育の向上とプログラムの開発・運営管理
  （Academic Development and Programme Development & Management）
  3．スタッフの配置と人材育成（Staffing and Staff Development）
  4．資源・支援（Other Resources and Support Services）
  5．質保証（Quality Assurance）

◇**評価手数料**（Non-local 教育プログラムを除く）　［香港ドル：約 15 円（2015 年 9 月現在）］

QF レベル	初期評価	学習プログラム アクレディテーション	学習プログラム 再アクレディテーション	プログラム分野別 アクレディテーション	定期レビュー
1	$12,000	$21,800	$18,500	$61,000	$49,100
2	$12,000	$21,800	$18,500	$61,000	$49,100
3	$29,400	$53,400	$46,900	$89,400	$81,800
4	$46,900	$201,700	$188,600	$305,200	$261,600
5	$70,900	$337,900	$316,100	$523,200	$436,000
6	$70,900	$337,900	$316,100	$523,200	$436,000
7	$70,900	$337,900	$316,100	$523,200	$436,000

（出典：Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications（2014c））

別添１

質素保証局（QAC）の概要

団体名	質素保証局（Quality Assurance Council: QAC）
設立年	2007 年
所在地	香港（中国）
ミッション	UGC より公的資金を配分される機関における、学士以上の学位・資格の維持・改善を行い、国際的な競争力を有するレベルを目指すことを目的とした、質保証を行うこと。
組織の性格	大学教育資助委員会（University Grants Committee：UGC）が設立。UGC 内の組織として半自律的に運営。
組織体制	香港特別行政区政府教育局から任命され、最大 9 名で構成。事務局がサポートを担う。
主な役割	・香港の高等教育機関の質保証に関して UGC に助言を行うこと ・UGC の求めに応じて、評価を実施すること ・高等教育における質保証を促進すること ・優良事例を広めること　　他
国際組織加盟状況	（UGC が APQN 正会員、INQAAHE 正会員）
ウェブサイト	http://www.ugc.edu.hk/eng/qac/index.htm

別添２

連校素質検討委員会（JQRC）の概要

団体名	連校素質検討委員会（Joint Quality Review Committee: JQRC）
設立年	2005 年
所在地	香港（中国）
組織の性格	大学長委員会（UGC から公的資金の配分を受ける 8 大学の長により構成）により設立
主な役割	UGC より公的資金の配分を受ける 8 大学系列の副学士プログラム運営組織（継続教育部門やコミュニティカレッジ等が自己資金で運営する）に対して、ピア・レビュー（教育関係者による質保証）を行うこと
国際組織加盟状況	APQN（正会員）、INQAAHE（正会員）
ウェブサイト	http://www.ugc.edu.hk/eng/qac/index.htm

別添３

香港学術及職業資歴評審局（HKCAAVQ）の概要

団体名	香港学術及職業資歴評審局（Hong Kong Council for Accreditation of Academic & Vocational Qualifications: HKCAAVQ）
設立年	2007 年 10 月（1990 年に設立された「香港学術評議局（Hong Kong Council for Academic Accreditation: HKCAA）」を改組）
所在地	香港（中国）
設立の目的	教育機関や職業訓練機関、個人に対する質保証を行う。香港政府や香港、アジア太平洋地域の組織に対する教育の資格や基準にかかる助言や、コンサルタント業務を行う。
組織の性格	HKCAAVQ 条例により設置された公的法人
組織体制	評議会：香港特別行政区行政長官から任命された 15～21 名で構成 事務局：フルタイムスタッフ 90 名（2014 年 3 月現在）
主な役割	<u>教育プログラムのアクレディテーション（評価）</u> 香港の資格枠組み（QF）に対し、学術・職業・Non-local 教育プログラムが適格であるかを評価する。 <u>学位・資格の認証</u> 個人や専門職が学習あるいは研修したコース・プログラムに対し、香港の QF においてどのレベルに該当するのか審査し、認証を行う。 ・香港以外で取得した資格認証 ・Non-local 教育課程（Non-local Courses）の認証 ・保険業・不動産業種団体における「継続的専門能力開発（CPD*）」プログラムの認証 *CPD：Continuing Professional Development ・「継続的教育基金」の助成対象となるコースの認証 <u>助言・コンサルタント業務</u> 香港政府や香港内にある組織に対して、質保証や学術基準、職業教育・研修に関する助言やコンサルタント業務。 <u>研修</u> 適格認定事業に必要な質保証のパートナー（教育機関、専門家、評価者、事務スタッフ、他）を養成するための、研修や説明会といった様々な能力開発事業。 <u>資格登録簿（Qualifications Register:QR）の管理</u>
国際組織加盟状況	APQN（正会員）、INQAAHE（正会員）
ウェブサイト	http://www.hkcaavq.edu.hk/

出典・参照：

- 外務省.（2014）. 中華人民共和国（香港）, 諸外国・地域の学校情報. http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world_school/01asia/infoC18200.html（最終アクセス日 2015年9月）.
- 外務省. (1998). 返還後の香港Q & A. http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/hongkong/97/q_a2.html (last accessed September 2015).
- 在香港日本国総領事館. (2012). 香港政治基礎情報. http://www.hk.emb-japan.go.jp/jp/hk_news.html(last accessed September 2015).
- デビッド・グロスマン.「日本と香港における高等教育と教員養成」. 近田政博訳.『名古屋高等教育研究』, *2004* (4), 127-145. http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/publications/journal/no4/09.pdf
- *Accreditation of Academic and Vocational Qualifications Ordinance 2007* (Hong Kong). Available from http://www.legislation.gov.hk/blis_pdf.nsf/6799165D2FEE3FA94825755E0033E532/08A299C8E01C2F21482575EF001FFE6F/$FILE/CAP_592_e_b5.pdf (last accessed September 2015).
- Caritas Hong Kong. (n.d.). *Academic Calendar, 2014-15*. Retrieved from http://www.cihe.edu.hk/files/Academic_Calendar_2014-15__degree_student.pdf (last accessed September 2015).
- Communications and Public Affairs Office, The University of Hong Kong. (n.d.). *Dates of Semesters 2014-2015*. Retrieved from http://www4.hku.hk/pubunit/calendar/archive/a/r/22-2014-2015/278-dates-semesters (last accessed September 2015).
- Concourse for the Self-financing Post-secondary Education. (2013). Quality. Retrieved from http://www.cspe.edu.hk/Content/Quality (last accessed September 2015).
- Concourse for the Self-financing Post-secondary Education. (2015). Regulatory Framework. Retrieved from http://www.cspe.edu.hk/content/Overview-Regulation (last accessed September 2015).
- Education and Manpower Bureau. (2005). *The New Academic Structure for Senior Secondary Education and Higher Education - Action Plan for Investing in the Future of Hong Kong*. Retrieved from http://334.edb.hkedcity.net/doc/eng/pamphlet.pdf (last accessed September 2015).
- Education Bureau. (2008). Generic Level Descriptors, Qualifications Framework. Retrieved from http://www.hkqf.gov.hk/guie/HKQF_GLD.asp (last accessed September 2015).
- Education Bureau. (2008). Introduction, Qualifications Framework. Retrieved from http://www.hkqf.gov.hk/guie/HKQF_intro.asp (last accessed September 2015).
- Education Bureau. (2012a). Vocational Training Council. Retrieved from http://www.edb.gov.hk/en/edu-system/other-edu-training/vocational-other-edu-program/vocational.html (last accessed September 2015).
- Education Bureau. (2012b). *Qualifications Framework Award Titles Scheme*. Retrieved from http://www.hkqf.gov.hk/media/HKQF/HKQF_ATS_E_2012_10.pdf (last accessed September 2015).
- Education Bureau. (2013). Post-Secondary Education: Overview. Retrieved from http://www.edb.gov.hk/en/edu-system/postsecondary/index.html (last accessed September 2015).
- Education Bureau. (2014). Primary and Secondary Education. Retrieved from http://edb.gov.hk/en/about-edb/policy/primary-secondary/index.html (last accessed September 2015).
- Education Bureau. (2015). *Roadmap for Becoming a Private University*. Retrieved from http://www.edb.gov.hk/attachment/en/edu-system/postsecondary/policy-doc/Roadmap_for_Becoming_a_Private_Univeristy_eng.pdf (last accessed September 2015).
- Education Bureau. (n.d.). Institutions. Retrieved from http://www.edb.gov.hk/en/edu-system/postsecondary/local-higher-edu/institutions/ (last accessed September 2015).
- *Education Ordinance 1997* (Hong Kong). Available from http://www.legislation.gov.hk/blis_pdf.nsf/6799165D2FEE3FA94825755E0033E532/8338564FED45F302482575EE0055FBF6/$FILE/CAP_279_e_b5.pdf (last accessed September 2015).
- Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications. (2010). *Guidelines on Institutional Review for the Purpose of Seeking Cap 320 Registration*. Retrieved from

http://www.hkcaavq.edu.hk/files/services/accreditation/four-stage-qa-process/Guidelines_on_IR_for_Cap320_Registration_20121022.pdf (last accessed September 2015).

- Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications. (2014a). *Guidance Notes on Periodic Review*. Retrieved from http://www.hkcaavq.edu.hk/files/services/accreditation/four-stage-qa-process/Guidance_Notes_on_Periodic_Review_20140801.pdf (last accessed September 2015).
- Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications. (2014b). *Guidance Notes on Programme Area Accreditation*. Retrieved from http://www.hkcaavq.edu.hk/files/services/accreditation/four-stage-qa-process/Guidance_Notes_on_PAA_20140801.pdf (last accessed September 2015).
- Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications. (2014c). *Guidelines on Accreditation of Non-local Learning Programmes*. http://www.hkcaavq.edu.hk/files/services/accreditation/non-local-learning-programmes/Guidelines_on_Accreditation_of_NLP_20140801.pdf (last accessed February 2016).
- Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications. (2014d). *Four-stage Quality Assurance Process Fee Schedule*. Retrieved from http://www.hkcaavq.edu.hk/files/services/accreditation/four-stage-qa-process/Fee_Schedule_e_20141001.pdf (last accessed September 2015).
- Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications. (2014e). *Annual Report 2013 - 2014*. Retrieved from http://www.hkcaavq.edu.hk/files/publications/annual-reports/AR2013-2014.pdf (last accessed September 2015).
- Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications. (2015a). *Guidance Notes on Initial Evaluation, Learning Programme Accreditation and Learning Programme Re-accreditation*. Retrieved from http://www.hkcaavq.edu.hk/files/services/accreditation/academic-accreditation/Guidance_Notes_on_IE_LPA_re-LPA_e_20150326.pdf (last accessed September 2015).
- Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications. (2015b). *Guidelines on the Four-stage Quality Assurance Process under the Qualifications Framework*. Retrieved from http://www.hkcaavq.edu.hk/files/services/accreditation/academic-accreditation/Guidelines_on_four_stage_QA_Process_e_20150325.pdf (last accessed September 2015).
- Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications. (2015c). *List of Operators Awarded with PAA Status*. Retrieved from http://www.hkcaavq.edu.hk/files/services/accreditation/academic-accreditation/List_of_Operators_awarded_PAA_Status_20150812_e.pdf (last accessed September 2015).
- Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications. (2015d). New Classification of Areas of Study and Training in the Qualifications Register (QR),List of Sub-areas and Illustrative Scope Statements http://www.hkcaavq.edu.hk/file/news/972/New_Classification_System__Eng__20151023.pdf (last accessed February 2016).
- Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications Secretariat. (2009). *Areas of Study & Training For the Qualifications Register of the Qualifications Framework*.
- http://www.hkqr.gov.hk/HKQRPRD/export/sites/default/.content/attachment/en/QR-Areas-of-Study-and-Training-English-22-05-2009.pdf (last accessed September 2015).
- Hong Kong Examinations and Assessment Authority. (2015a). HKALE. Retrieved from http://www.hkeaa.edu.hk/en/recognition/develop_hk_pub_exam/hkale/ (last accessed September 2015).
- Hong Kong Examinations and Assessment Authority. (2015b). HKCEE. Retrieved from http://www.hkeaa.edu.hk/en/recognition/develop_hk_pub_exam/hkcee/ (last accessed September 2015).
- Hong Kong Examinations and Assessment Authority. (2015c). Introduction, HKDSE. Retrieved from http://www.hkeaa.edu.hk/en/hkdse/introduction/ (last accessed September 2015).
- Hong Kong Special Administrative Region Government. (2015). *The Basic Law of the Hong Kong Special Administrative Region of the People's Republic of China,* 43-46. Retrieved from http://www.basiclaw.gov.hk/en/basiclawtext/images/basiclaw_full_text_en.pdf (last accessed September 2015).
- Information Services Department, Education Bureau. (2015). *HONG KONG: THE FACT*. Retrieved from http://www.gov.hk/en/about/abouthk/factsheets/docs/education.pdf (last accessed September 2015).

- Joint Quality Review Committee. (2015). About JQRC. Retrieved from http://www.jqrc.edu.hk/index.files/AbtJQRC.htm (last accessed September 2015).
- Joint Quality Review Committee. (2015). Two-stage Review : Preview and Institutional Review. Retrieved from http://www.jqrc.edu.hk/index.files/Review1.htm (last accessed September 2015).
- Lee, K. (2014, September). *The Quality Assurance System in Academic and Vocational Education in Hong Kong*. Presented at Higher Education Evaluation Center International Forum, Beijing.
- *Non-local Higher and Professional Education (Regulation) Ordinance 1997* (Hong Kong). Available from http://www.legislation.gov.hk/blis_pdf.nsf/6799165D2FEE3FA94825755E0033E532/E8739504D97F5109482575EF000F3B77/$FILE/CAP_493_e_b5.pdf (last accessed September 2015).
- OECD. (2011). Shanghai and Hong Kong: Two Distinct Examples of Education Reform in China. *Strong Performers and Successful Reformers in Education: Lessons from PISA for the United States,* 98-115. doi: 10.1787/9789264096660-5-en (last accessed September 2015).
- *Post Secondary Colleges Ordinance 1997* (Hong Kong). Available from http://www.legislation.gov.hk/blis_pdf.nsf/6799165D2FEE3FA94825755E0033E532/67DEABE9E9A7D68C482575EE006038C7/$FILE/CAP_320_e_b5.pdf (last accessed September 2015).
- Postgraduate Studies in Hong Kong. (2008). Postgraduate Studies. Retrieved from http://www.grad.edu.hk/grad/postgraduate-studies.html (last accessed September 2015).
- *QR Statistics*. Retrieved July 30, 2015, from http://www.hkqr.gov.hk/HKQRPRD/export/sites/default/hkqr-en/Current-QR-Statistics-as-of-20150717-Eng.pdf (last accessed September 2015).
- Qualifications Register. Available from http://www.hkqr.gov.hk/HKQRPRD/web/hkqr-en/ (last accessed September 2015).
- Quality Assurance Council. *Audit Manual Second Audit Cycle*. (n.d.). Retrieved from http://www.ugc.edu.hk/eng/doc/qac/manual/auditmanual2.pdf (last accessed September 2015).
- Quality Assurance Council. (2007). Terms of Reference. Retrieved from http://www.ugc.edu.hk/eng/qac/about/term/qac.htm (last accessed September 2015).
- The Chinese University of Hong Kong. (2009). University Almanac 2015-16. Retrieved from https://rgsntl.rgs.cuhk.edu.hk/rws_prd_life/re_menu/gn_115108585.asp (last accessed September 2015).
- The Chinese University of Hong Kong. (2015). Milestones through the Decades. Retrieved from http://www.cuhk.edu.hk/ugallery/en/zone-a.html (last accessed September 2015).
- The Government of the Hong Kong Special Administrative Region. (2014). *Key Statistics on Post-secondary Education*. Retrieved from http://www.ipass.gov.hk/eng/postsec_keystat.pdf (last accessed September 2015).
- The University of Hong Kong. (2012). The Early Years, University History, About HKU. Retrieved from http://www.hku.hk/about/university-history/the-early-years.html (last accessed September 2015).
- UK NARIC. (2015). Hong Kong, International Comparisons. Retrieved from https://www.naric.org.uk/product/Overviews/information.aspx?CountryID=71 (last accessed September 2015).
- University Grants Committee. (2007). Roles and Functions. Retrieved from http://www.ugc.edu.hk/eng/ugc/about/overview/roles.htm (last accessed September 2015).
- Vocational Training Council.(2015). Member Institutions. Retrieved from http://www.vtc.edu.hk/html/en/institutions.html (last accessed September 2015).
- *Vocational Training Council Ordinance 1997* (Hong Kong). Available from http://www.legislation.gov.hk/blis_pdf.nsf/6799165D2FEE3FA94825755E0033E532/7B71762A2BFD7D26482575EF00260FF0/$FILE/CAP_1130_e_b5.pdf (last accessed September 2015).

資料作成：評価事業部 国際課
2015 年 9 月作成（2016 年 2 月更新）